様式第3号(第4条関係)

会　　議　　録

1　附属機関等の会議の名称
令和8年度 第2回 松川町上下水道事業経営審議会

2　開催日時
令和8年11月12日(木)　午後6時30分から午後7時30分まで

3　開催場所
松川町役場　2階　協議会室

4　出席者氏名
(委員)
熊谷宗明会長　井口由紀子副会長　加賀田亮委員　　松井悦子委員　北條栄子委員
米山政則委員　　細田勉委員　　大澤史人委員　　北村稔委員
(事務局) 中村昌彦課長　唐澤琴美係長　塩澤怜係長

5　議題(公開又は非公開の別)
(1) 下水道受益者負担金の見直しについて (公開)
(2) 今後の議題について (公開)

6　非公開の理由(会議を非公開とした場合)
―

7　傍聴人の数
0人

8　会議資料の名称
・資料№4　令和8年度 松川町上下水道事業経営審議会 資料　-質疑回答-
・資料№5　水道事業・下水道事業に関する経営戦略 (案) について

9　審議の概要
(1) 開会 (井口副会長)
(2) あいさつ (熊谷会長)
(3) 下水道受益者負担金の見直しについて (中村課長、塩澤係長、唐澤係長)
【質疑・協議内容】
(委　　員) 他の市町村の普及率と比較して、普及率が低いところは受益者負担金 (以下、負担金) も高いと感じる。負担金の引き下げは人口増・加入促進につながるのではないかと思う。
(事　務　局) 松川町は下水供用開始時期が遅かった地区もあり、下水が整備される前に

合併処理浄化槽を設置したご家庭が多かったことも普及率が低い要因と考えられる。今回の負担金引き下げで浄化槽からの転換が進むことも期待している。

（委　　員）負担金の減免措置適応実績について、分析結果について影響がないこと理解した。引き下げること自体に異論はない。しかし、前回示された分析結果では加入者減少傾向を改善できれば、長期的に見て収入増になっているものの、現在一般会計からの繰入金に依存した経営状況の中で収入源を減らしていいのか。

（事　務　局）分析で示した改善の数値については目標値としての側面もあるため、併せて加入促進できればと考えている。

（委　　員）今後の下水道事業スケジュールに示されている通り、施設統合により支出削減の施策も進められている。負担金の引き下げが加入者の増加および経営状況の改善につながると思う。

（委　　員）引き下げに異論はないが、現在提示されている改定案で共同住宅（アパート等）の負担金が他の市町村と比較して高く感じる。もう10万円ほど下げてもいいのではないか。現在、個人住宅の建築費用も高騰しておりアパート等の需要も高いため検討できないか。

（委　　員）全国的な傾向として、上下水道事業は設備投資に対して費用回収が追い付いていない状況。特に田舎は管路の長さに対して人が少ないため経営効率が悪くなる傾向がある。その中で新規使用者を増やす施策として負担金の引き下げはやる価値がある。

近年は工場等の雇入れのため社宅のアパートを建てて人を呼込む事例も多い。企業は水道利用の大口顧客となり得るため、事業所の負担金についても今の改定案からもう少し引き下げてもいいのではないか。

（委　　員）今回の負担金の引き下げ実現により、人口増対策の取り組みが一歩進むことに期待したい。改定後も効果を見て必要に応じて見直していくことも視野に入れてもらいたい。

（事　務　局）今回いただいたご意見を基に、理事者とも改定案を検討したうえで議会に上程していきます。

(4) 松川町上下水道事業経営戦略の改定について（中村課長、唐澤係長）

【質疑等】

なし

(5) 次回の日程について

令和9年1月

※細かい日程調整については後日行う

(6) 閉会（井口副会長）